

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年8月30日(2022.8.30)

【公開番号】特開2020-108428(P2020-108428A)

【公開日】令和2年7月16日(2020.7.16)

【年通号数】公開・登録公報2020-028

【出願番号】特願2018-248636(P2018-248636)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和4年8月22日(2022.8.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技球が入球可能な入球手段と、

前記入球手段への遊技球の入球を契機として特別情報を取得する特別情報取得手段と、

前記特別情報を所定の確率で大当たり当選であると判定する判定手段と、

前記判定に使用される前記所定の確率の設定値を決定する設定値決定手段と、

所定の設定値が選択されることに基づいて所定設定情報を所定の記憶領域に記憶する手段と、

前記所定設定情報に対応した情報であって、前記判定手段による前記特別情報の判定時に参照される判定時参照情報を前記設定値の決定に基づいて記憶する手段と、

を備える遊技機であって、

前記判定手段は、図柄の変動開始時に前記判定時参照情報を参照して、前記特別情報を判定するものである

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

40

[形態] (本形態は、主に、下記の第1実施形態の態様110に基づく)

遊技球が入球可能な入球手段と、

前記入球手段への遊技球の入球を契機として特別情報を取得する特別情報取得手段と、

前記特別情報を所定の確率で大当たり当選であると判定する判定手段と、

前記判定に使用される前記所定の確率の設定値を決定する設定値決定手段と、

所定の設定値が選択されることに基づいて所定設定情報を所定の記憶領域に記憶する手段と、

前記所定設定情報に対応した情報であって、前記判定手段による前記特別情報の判定時に参照される判定時参照情報を前記設定値の決定に基づいて記憶する手段と、

を備える遊技機であって、

50

前記判定手段は、図柄の変動開始時に前記判定時参照情報を参照して、前記特別情報を判定するものであることを特徴とする遊技機。

10

20

30

40

50